
1. 登録制度改革（2026年以降）の方向性について

2. JFA Passportアプリの選手層への導入促進について

1. 選手一人ひとりと協会がつながり、選手の登録認知・帰属意識、移籍時の主体性を向上させる

具体的な
変更案

- ① 登録選手全員がJFA-IDを保有し選手個人も協会に登録している状態をつくる

登録選手本人の主体性を確保するため、また選手個人の情報を管理する観点で、個人とのつながりを持つことは必須であり、つながりを支点にさまざまな機能やサービスにもつなげることができる

- ② 選手本人が移籍のための申請を可能とする
また移籍ごとに発生していた登録料の徴収を見直す

選手が移籍する際、元チームの代表者の登録抹消作業が必須となっている点や、移籍毎に都度登録料を請求する運用を見直すことで、より移籍を主体的に自由におこなう環境を整備する

2. 「クラブ」をベースとしたより柔軟な「登録チーム」編成を可能にする

具体的な
変更案

- ③ 登録チームの上位概念として「クラブ」を制度・システム上で位置づける

サッカーがさらに世の中に定着していくためには、その受け皿となるクラブの存在は非常に重要であり、現行限定的に運用されているクラブ申請制度を発展的に制度・システムに落とし込む

- ④ 年齢・性別・国籍・種別・競技区分など、クラブ内での柔軟な「登録チーム」編成を可能にする

部活動の社会体育への移行など、現代社会で様々なチームのあり方や連盟・競技会のあり方が検討されていく中、登録をするチームはより柔軟な編成を可能とする制度とする

**4種委員長の皆様より、登録チームへの協力依頼をお願いします！
具体的には・・・本資料を4種委員会内で展開いただくなど、
チーム責任者・指導者の皆様への事前のお声掛けをいただけますと幸いです。**

■ポイント

- ①2026年以降、登録選手の「JFA ID保有必須化」がスタートする予定です。
- ②本年度より、必須化に向けた移行期間として、選手のJFA ID取得を推進します。
- ③本年10月頃、チーム宛に各選手への案内を送付しますので、選手へのお渡しをお願いします。

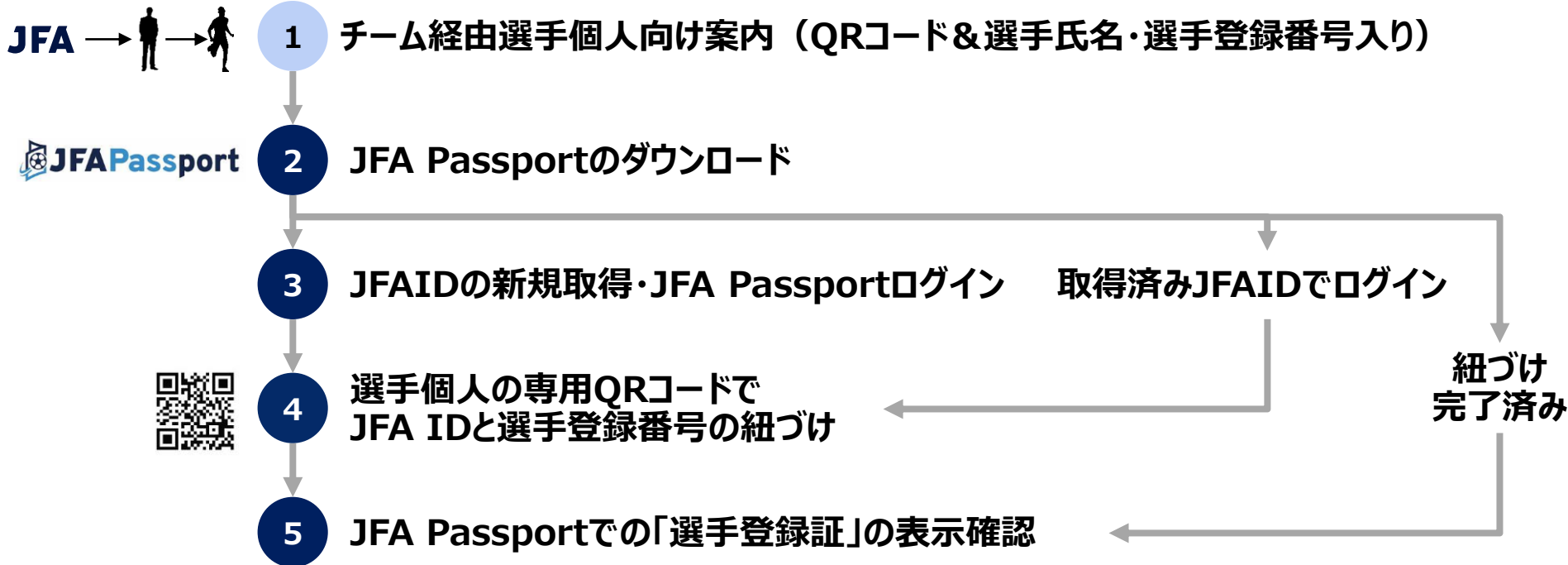
▼登録選手向け案内・記載内容

- 1) JFA Passportアプリの利用 (JFA ID取得) のご案内
- 2) 「選手登録番号」と選手自身の「JFA ID」との紐づけ方法のご案内
- 3) JFA Passportアプリでの「選手登録証」の確認方法

※4種年代の選手のJFA ID取得は、保護者等による代理登録が可能です。

JFAIDと選手登録番号の紐づけ ～JFA Passportダウンロードまでのフロー（想定）

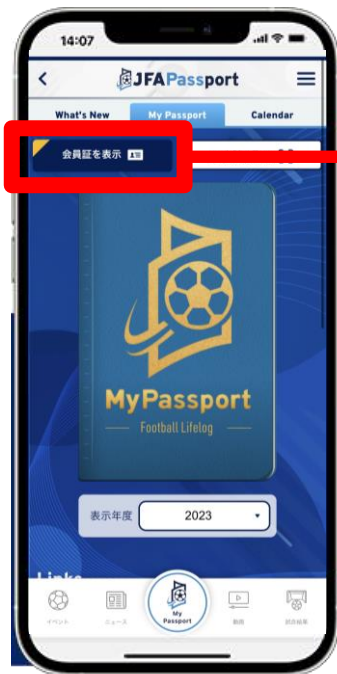
本フローは、主要部分のみ抜粋しております。
今後、開発会社との協議等によって変更となる可能性があります。



※要所で発生する登録者・保護者からの問い合わせ対応は**JFAサービスデスク、オンライン上での自動応答等**の対応を想定。

「Football Lifelog」としての第一歩

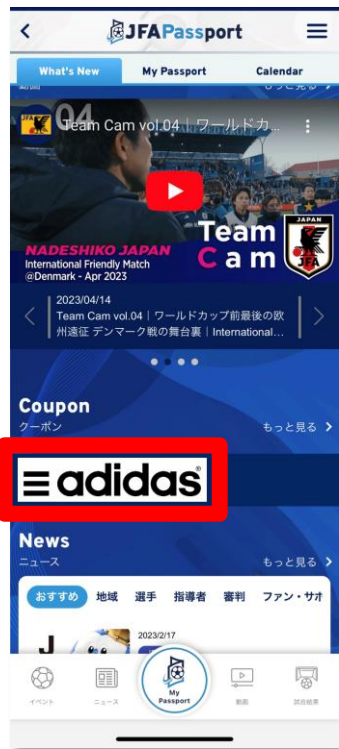
現行の「会員証を表示」の機能内に登録証表示機能の追加を想定



※KICKOFFアプリからの機能移管概要は後述



第一弾として、adidasからのクーポン提供を計画 JFAID・選手登録番号の紐づけ／JFA Passport活用促進の案内と同時期に展開予定



1 使いたい時にいつでも使える

メールマガジンクーポンの、「見落としてしまった」「他メールに埋もれてしまう」など使い勝手の悪い一面から脱却。

2 継続的なキャンペーンの提供

単発・一時的な割引クーポンだけでなく、協賛者を巻き込んだ利用者にメリットのある連動施策の検討。
例：JFA Passport×adiClubの連動企画など

機能移管の課題・メリット等の整理

KICKOFFアプリとは

登録証の電子化に伴って2018年4月にリリースしたアプリ

- ダウンロード数 累計45万（Android17万・iOS28万）
- 利用者 登録者（選手・指導者・審判員・チーム登録責任者）
- 主な機能 登録証の表示、登録選手一覧の表示



現状の課題

- JFA公式アプリが2つ存在し、登録者・一般ユーザーが混乱する
- 登録証表示機能のみで、サッカー活動の幅広い支援には至っていない

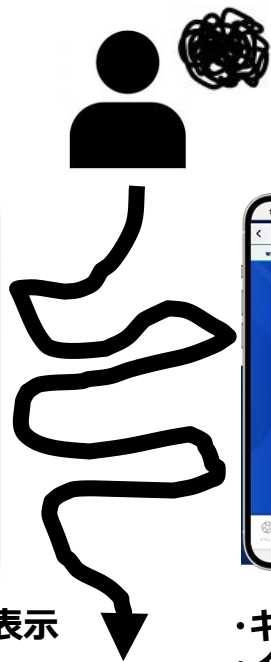
移管メリット

- 登録者・一般ユーザーがJFAの公式アプリを迷わず利用できる
- 登録証表示以外のサッカーコンテンツを登録者に発信できる
- JFA Passportが登録者向けの重要な機能の一つになる

移管に向けて

- シーズン中に混乱を招かない移管時期を検討
- KICKOFFアプリとJFA Passportアプリの並行利用期間を設定

機能移管の課題・メリット等の整理



・登録証の表示



- ・キャンペーン
- ・イベント
- ・ニュース
- ・日本代表関連情報
- ・動画
- ・会員証（≠登録証）の表示



- ・キャンペーン
- ・イベント
- ・ニュース
- ・日本代表関連情報
- ・動画
- ・会員証の表示
- ・登録証の表示

JFA Passportへの登録証表示機能の移管により、サッカーに関する情報が一元的に見れる

選手、審判、指導者、ファン・サポーターなど、サッカーへの関わり方が変わってもJFA Passportを中心につながり続ける

- 将来的に・・・
- ・資格に紐づく講習会や研修会の情報
- ・資格の更新に関する情報

等

想定スケジュール

2023年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	
開発・準備 JFA Passport登録証表示機能開発 選手証紐づけ機能開発 選手への通知準備 47FA事務局説明会 等			案内 チーム経由 登録選手 への通知	選手 DL・紐づけ アプリDL JFA ID取得 選手登録番号との紐づけ						
現Kickoffアプリ機能のJFA Passport移管準備 JFA Passportでのチーム責任者向け一覧表示等の開発								移管 Kickoffアプリから の機能移管		
現Kickoffアプリ運用 2024年のJFA Passportでの機能移管の完了をもって、現Kickoffアプリの運用を終了予定										

【将来的に】選手・保護者のJFAID保有によって、JFAのみならずFAが得られるメリット

JFAIDを基盤として、「いつ」「どこで」「誰が」「どんな状態か」がわかり適切な施策が実行できる

■ 例えば・・・

- ・小学校卒業後の選手の**継続・非継続の動向が把握**できる
- ・特に、4種年代でサッカーをしていた**女子選手その後の動向が把握**でき、女子サッカー普及の重要な情報を取得できる
- ・保護者との繋がり、FA事業への参画、指導者・審判への誘引、ファン施策など、**様々な施策活用**が可能になる
- ・選手・保護者との繋がり、**引退後も継続**でき、将来的な施策関与への誘引等が可能になる

【JFAID】

